

Culture Niigata

— “感動”が人をつくる —

Culture Niigata 2019.12-2020.02
vol.101

【令和元年11月25日発行】発行・編集／(公財)新潟県文化振興財団 編集・制作／(株)関東朝日広告社 デザイン／磯野和也 印刷／明栄印刷(株)



NEXT STAGE

— 情熱の行方 —
オルガニスト 石丸由佳

新潟イベント情報

親子で楽しもう

— シリーズ —
URAKATA 読める

よりぞう、あるある川柳

アプリなら
家計簿・通帳
すぐ分かる



©よりぞう

そんなあなたに、**JA ネットバンク**
新機能!「かんたん通帳」でいつでもどこでも取引明細の確認が可能に!
さらに「マネーフォワード連携サービス」もオープン!
※本サービスは株式会社マネーフォワードが運営しております。
JAバンクの運営ではありません。



JAバンク かんたん通帳 スマホやタブレットから
取引明細のご確認が可能です。

マネーフォワード for JAバンク お手元で楽に金融資産の管理が可能に。
また、家計簿機能としても利用可能です。



くわしくは、JA ネットバンク 特設ページへ <https://www.jabank.org/netbank/>



耕そう、大地と地域のみらい。





NEXT STAGE

—情熱の行方—

これからの舞台芸術を担う、新渕ゆかりのアーティストを紹介する「NEXT STAGE」。今回は情熱的で豊かな音楽性と高度な演奏テクニックで国内外問わず、高い評価を受けている新潟市出身のオルガニスト・石丸由佳さん。これまでの歩みと、オルガニストとしての思いを聞いた。

オルガニスト
石丸由佳 Yuka Ishimaru

一人でオーケストラを演奏している感覚が楽しい

新潟でパイプオルガンを初体験！第一印象は“太刀打ちできない怪獣”

—パイプオルガンを知ったのはいつですか？
初めてパイプオルガンの音色を聴いたのは中2の音楽の授業です。曲はバッハの「小フーガ」。一人でいくつもの楽器の音色を出していることに感動し、いつか触ってみたいと思っていました。中3になり、そのチャンスが巡ってきました。市内中学生による合同演奏会「水辺の音楽会」開催にあたり、中学生5人がパイプオルガンを演奏できるというプログラムがあってそれに応募したのです。演奏会に向けて半年間、市内の教会などで練習させてもらいました。

—初めて弾いたパイプオルガンの感触はいかがでしたか？
「まだまだ太刀打ちできない怪獣」、みたいな感じでした。りゅーとびあのパイプオルガンは高さ約11メートル、幅が約10メートルで最長6メートルのパイプ(笛)が約5000本近く並んでいます。奏者は壁に埋め込まれた70個のストップ(栓)を操作してふいごの風を通すパイプを選択し、その組

み合わせによって様々な音色を奏でるわけです。でも、最初はそんなことも全く知らないし、分からず、とにかく自分の近くにあるパイプの音しか聞こえなくて、何を弾いているのかさえ分からなくなったことを鮮明に覚えています。

—でも、そこからオルガンを続けようと思ったのは？
その時、指導してくれた先生から声をかけていただき、高1から先生のお家で電子オルガンでのレッスンを開始したんです。高3の時に、りゅーとびあ主催の「オルガン研修講座」の1期生になりました。そこで再びパイプオルガンで弾く機会を得たわけですが、相変わらず“怪獣感”は健在。自分には到底あやつれないものに立ち向かう感触がまだありましたね。

—高校卒業後、東京藝術大学オルガン科に進学したのは、すでにプロの奏者を目指していたからですか？
もともと一つのことしかできない性格で、高1でオルガンを習い始めた時点で、学業は諦めてしまったんです(笑)。だから自然にオルガンを極めるべく、藝大へ進みました。ただ、正直、あまり先のことは考えていませんでした。こうすればオルガニストになれるというハウツーはないので、大学時代はひたすら練習に明け暮れる日々を過ごしていました。

コンクール優勝で得た副賞のヨーロッパツアーで武者修行

—最初に留学したのはデンマークだったそうですね。
ドイツやフランスへ行く人が多いのですが、大好きなオルガン奏者がデンマークの大学で教鞭をとっているスウェーデン人の先生だったので、その人に指導してもらいたいと考えてそうしました。

—世界的にも権威のあるシャルトル国際オルガンコンクールで優勝されたのはいつ頃ですか？
デンマークの学校を2年で修了した頃です。まさか優勝するとは思っていませんでした。副賞にヨーロッパツアーがついてくるというのは全然知らなくて(笑)。賞をいただいてから4年間、ドイツの学校に籍を置きながらヨーロッパ各地で演奏する日々を続けました。

—ヨーロッパツアーではシャルトルの大聖堂とかパリのノートルダム大聖堂などでも演奏されたとか。
そうです。それ以外にも世界遺産になっている教会を始め、田舎にある小さな教会までとにかく様々な場所へ行きました。

—パイプオルガンは設置場所に合わせて作られるため、大きさやパイプの数、鍵盤の数が違ってきます。段数も5段のところもあれば、1段しかないところもあります。一応、事前に確認もしますが、どんなオルガンかは実際に行って弾いてみないとわかりません。古いオルガンだと音の出ない鍵盤が数カ所あったり、逆に一度押すと音がずっと鳴り止まない鍵盤があったりもしますね(笑)。

—そういう時は、どうするんですか？
用意していった曲を最適な音色で演奏できるように、自分で音の調整を行います。ちなみに、ずっと鳴り続ける鍵盤には厚紙を挟んで音が出ないようにし、代わりに1オクターブ上の音で弾きました。とはいえ、こうした事前準備ができるのは、だいたい本番の前日の1日だけ。そんなことの繰り返しで10カ国100カ所以上を巡りました。まさに武者修行です。

—お陰で臨機応変に対応できる能力、柔軟性が身につきましたし、何よりヨーロッパにある、いろんなオルガンの音を聴くことができたことはオルガニストの私にとって大きな財産になっています。



—オルガンともまさに一期一会なんですね。
そうなんです。毎回、その場所に行くまではどんな個性を持つオルガンか分からないので、不安で怖いのですが、実際に会って弾いてみると性格が次第に分かってきます。本番までにはかなり親しくなって、そのオルガンが一番良い音色を奏でられるように調整していく感じです。

パイプオルガンの演奏は絵を描く作業に似ている

—ご自身がパイプオルガンに感じている魅力は何ですか？
やはり一人でオーケストラの演奏をしているような感覚が好きですね。中学高校と吹奏楽部でフルート、サクソ、トロンボーンを経験したのですが、本当は全部の楽器がやりたかったほど。その感覚がパイプオルガンであれば、実現できる。一人で何役もできるし、旋律も一つではなくて、一人で高い音から低い音まで担当できます。

—パイプオルガンの面白いところでもあるのですが、音色を混ぜて新しい音を作ることができるんです。音程の異なるパイプが同時に鳴ると和音になると思われるかもしれませんが違うんです。

—パイプオルガンの場合、一つの音に溶け合い、力強く華やかな音に仕上がるんです。そう考えるとオルガンの音作り



てちょっと絵を描く作業に似ているなど感じています。そこも好きですね。大きな楽器だと何十色もある音のパイプの中からいくつかチョイスして組み合わせていくのですが、あたかもパレットに色とりどりの絵の具を出して、どの色とどの色を混ぜて真っ白な楽譜に塗り上げていくのかを考えるような感覚です。

—演奏の際、心がけていることなどありますか？

今は日本で演奏することが多いのですが、ここで役立つのはヨーロッパツアーでの経験。各地で様々な国や年代のオルガンに触れ、いろんな音色を聴いてきたことを生かし、例えば、フランス19世紀の曲を演奏する時は、その時代に作られたオルガンの音を思い出して弾くようにしています。

また、オーケストラのために書かれた曲を演奏する場合は、いろんな楽器の音が響くような音色に調整して演奏するようにしています。

—今後の目標を教えてください。

パイプオルガンは紀元前から存在する楽器ですが、日本に入ってきてからは50年足らず、コンサートホールに設置されるようになって30年~40年程度。どこの教会にも必ずオルガンがあり、生活に密着しているヨーロッパと違い、日本ではまだ新しい文化なのですが、いつかヨーロッパの人がうらやむような、日本独自のパイプオルガン文化を創っていききたい。そのためにもオルガンの素晴らしさを広めるような活動をもっとしていけたらと思っています。

—新潟のみなさんにメッセージをお願いします。

人生で初めてパイプオルガンと出会ったのがりゅーとぴあでした。ここで弾くと自分の成長が一番よく分かります。最初は、わけの分からない怪物だったのが、今は一緒に「歌って」くれている感覚があります。それぐらい近い関係になりました。新潟には身近に立派なパイプオルガンがあります。それを聴かないのはあまりにもったいないこと。演奏会の際には気軽に足を運んでいただけたらと思います。

表紙:「クラシックの殿堂」サントリーホールのオルガン
撮影・取材協力:サントリーホール

Question & Answer

Q. 一番リラックスするのはどんなとき？

本番が終わった直後のひととき。翌日にはもう次の本番のことを考えてしまうので、本当にリラックスしているのはその時ぐらいですね。

Q. 今、ハマっているものは？

雑貨が好きです。ヨーロッパのクリスマスマーケットで売っているアンティークのくるみ割り人形とか、鳥の形をした陶器とか大好物で、ついつい買って家に連れて帰ってしまいます(笑)。

Q. 好きな絵は？

ヨーロッパで飛行機の待ち時間があると近くの美術館へ行きます。オランジェリー美術館に展示されているフランスの画家、クロード・モネの「睡蓮」をボーッと眺めていたことも。特にモネの色彩感が好きなんです。

Q. ご自身の性格を自己分析すると？

一つのことしかできない性格。何事も始めると没頭してしまうので…。今も本番が控えているとそれしか考えられなくなってしまいます。血液型はO型です。



石丸由佳

新潟市生まれ。中学時代、開館したばかりの新潟市民芸術文化会館(りゅーとぴあ)でパイプオルガンを触る機会があり、それをきっかけに本格的に勉強を始める。東京藝術大学音楽学部器楽科オルガン専攻卒業。東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程修了。その後、海外へ渡り、デンマーク王立音楽院ソリスト科とドイツ国立シュトゥットガルト音楽大学ソリスト科修了。留学中に世界的に権威のあるシャルトル国際オルガンコンクールで優勝。フランス・ドイツを中心に、ヨーロッパ10カ国以上の各地音楽祭に招待され、シャルトル大聖堂やパリのノートルダム大聖堂等でリサイタルを行う。その他、国内外の著名オーケストラとの共演多数。またNHK紅白歌合戦に嵐のサポートとして出演するなど幅広く活躍中。現在は武蔵野音楽大学で講師も務めている。

新潟イベント情報

県内で行う様々な催物をお届けします。会場に足を踏み入れると、そこは別世界。是非、体感してみてください。

「新潟イベント情報」への掲載をご希望の方は、下記までご連絡ください。

次号vol.102は、2月下旬発行予定です。1/8(水)までに、3月~5月の催物情報をお寄せください。

(公財)新潟県文化振興財団 事業課「カルチャーにいがた」係

TEL 025-228-3577 FAX 025-228-3818 E-mail jigyou@niigata-bunka.jp

※「助成事業」は(公財)新潟県文化振興財団助成事業です。

※未就学児は入場不可の場合があります。☺「託児あり」の公演には託児室を設置します。(要予約)

※11/20時点の情報です。主催者等の都合により内容等が変更になる場合があります。詳細については、各問合せ先へご確認ください。

ホームページ「新潟文化物語」にも各種催物情報を掲載しています。掲載をご希望の方はホームページ上から登録をお願いします。

新潟文化物語 検索

分野別アイコン コンサート ミュージカル・演劇・舞踊 古典・伝統 美術展・写真展 イベントなど

コンサート

演奏活動20周年記念
横坂源 チェロリサイタル

12/1(日) 13:30
長岡リリックホール コンサートホール

新潟市出身でデビュー20周年を迎える実力派のチェリスト横坂源が、「人間の声が一番近い楽器」といわれる、チェロの魅力を存分に引き出します。高い技術と表現力、素晴らしいチェロの音色を、どうぞお楽しみください。

出演:横坂源(チェロ)、沼沢淑音(ピアノ)
曲目:J.S.バッハ/無伴奏チェロ組曲第3番より「プレリュード」、サン・サーンス/白鳥、ストラヴィンスキー/イタリヤ組曲、シューマン/幻想小曲集Op.73、ラフマニノフ/チェロソナタ 他



料 金	全席指定 3,000円 <small>※未就学児の入場はご連絡ください。</small>
主 催 お問合せ	(公財)長岡市芸術文化振興財団 0258-29-7715

ミュージカル・演劇・舞踊

助成事業

新潟芸術座公演『かもめ』-四幕の喜劇-

12/4(水)・5(木)・6(金) 19:00・7(土) 13:00
8(日) 13:00 新潟古町えんとつシアター

ロシアの片田舎、湖畔にあるソーリンの屋敷の敷地、作家志望のコンスタンチン(トレーブレフ、コースチャ)は自身の戯曲の上演の準備を進めている。恋人で女優志望のザレーチナヤ(ニーナ)は開演直前にやってくる…人が持つ多面性と誰一人交わらない一方通行の恋が織りなす悲劇的な4幕の喜劇。人間の普遍性を描いた不朽の名作。

作:アントン・チェーホフ
翻訳・演出:西村洋一
出演:近藤聡実、宮川飛鳥、渡部貴将、佐藤祐介、ほーりん、井上晶子、中村みゆう、市井優、椿茂之、つさきまどか、山川祐賢子、夏季さわ、島村哲平、日比谷公園、和田淳也



料 金	全席自由 一般 2,500円 18歳以下 1,500円(当日各300円増) <small>※未就学児の入場はご連絡ください。</small>
主 催 お問合せ	新潟芸術座 niigatageijyutuza@gmail.com

コンサート

新潟大学管弦楽団 第56定期演奏会

12/7(土) 14:30 りゅーとぴあ コンサートホール

新潟大学管弦楽団は、新潟大学を中心に新潟薬科大学や新潟青陵大学などの、140名を超える団員が活動している学生オーケストラです。今回の定期演奏会ではチャイコフスキーのテンペスト、そしてラフマニノフの交響曲第2番を演奏いたします。メイン曲の交響曲第2番の甘美なメロディーはCMや映画にもよく使用されており、クラシックを普段よく聴く方にも、馴染みのない方にも楽しんでいただけるかと思えます。

出演:河地良智(指揮)
新潟大学管弦楽団
曲目:P.I.チャイコフスキー/幻想序曲「テンペスト」
Op.18、S.ラフマニノフ/交響曲第2番 Op.271



料 金	全席自由 800円(当日100円増)
お問合せ	新潟大学管弦楽団 080-9385-2436(橋爪)

【主催】新潟大学管弦楽団(新潟大学学生会、新潟大学医学部学生会、新潟薬科大学オーケストラ部)

コンサート

NT CONNECTION
越中越後古楽ノ盟 vol.7 夜の音楽

12/7(土) 17:00 高田まちかど交流館

N(iigata)とT(oyama)の古楽器奏者でお送りするこのシリーズ、今回は「夜の音楽」をテーマに、様々なバロック音楽をお届けします。昨年に引き続き、お菓子と飲物をご用意します。知名度の低い作曲家、作品をとりあげることが多いですが、1曲ずつお話をしながらコンサートを進めていきます。気楽にお越しください。

出演:藤原満(バロックオーボエ)、丸杉俊彦(リコーダー/トラヴェルソ)、白澤亨(ヴィオラ・ダ・ガンバ他)、安岡厚子(チェンバロ)、笠原恒則(チェンバロ)
曲目:F.クーブラン/ルソンド・テネブレ 第3番、シャルバンティエ/器楽のためのノエル 他



料 金	全席自由 1,500円(当日300円増)
主 催 お問合せ	NTコネクション joetsubach-2016@yahoo.co.jp(藤原)



YUKA ISHIMARU 石丸由佳
ORGAN ODYSSEY オルガン・オデッセイ

新潟が生んだ、オルガン界のスター誕生!

収録
曲目

J.S. バッハ:平均律クラヴィア曲集 第1巻 第1番 八長調BWV846
J.ウィリアムズ:スターウォーズよりメインタイトル(山口綾規編曲)
J.S.バッハ:「われ汝に呼ばわる、主イエス・キリストよ」BWV 639 他
2019年6月26・28日 福井県立音楽堂「ハーモニーホールふくい」

好評発売中!

定価 3,000円+税
KICC-1490 キングレコード

公演情報

パイプオルガンとカウンターテナーの
クリスマスコンサート

12/7(土) 18:00
ホワイトキューブ(白石市文化体育活動センター)

料 金	全席指定 一般 2,000円(当日500円増) <small>※未就学児の入場はご連絡ください。</small>
お問合せ	ホワイトキューブ 0224-22-1290

日本フィルハーモニー 第九特別演奏会2019

12/21(土) 14:00 横浜みなとみらいホール 12/24(火) 19:00 東京芸術劇場
12/26(木) 19:00 東京芸術劇場 12/27(金) 19:00 サントリーホール
12/28(土) 14:00 東京芸術劇場

料 金	全席指定 S席 9,000円 A席 7,500円 B席 7,000円 C席 6,000円 Gs席(65歳以上) 6,000円 Ys席(25歳以下) 3,500円 <small>※未就学児の入場はご連絡ください。</small>
お問合せ	日本フィル・サービスセンター 03-5378-5911(平日10:00~17:00)



コンサート

11th.うおぬまLiricaコンサート♪ コーラスアラカルト ～私の思い出の一曲～

12/8(日) 14:00 南魚沼市民会館 多目的ホール

今年は団員の思い出の曲、懐かしの唱歌メドレーをうおぬまLiricaと南魚沼少年少女合唱団が歌いあげます。第2部は箏奏者の武藤祥圃をゲストに美しい音色をお届けします。日本の音・美の世界をどうぞ堪能ください。

出演:古川圭子(指揮)、武藤祥圃(箏)、鈴木規子(ソプラノ)、上村明子(ピアノ)、南魚沼市民合唱団うおぬまLirica(合唱)、南魚沼少年少女合唱団(合唱)
曲目:アニーローリー、糸、喝采 他



料金 全席自由 一般 1,000円(当日200円増) 高校生以下 無料(要整理券)

お問合せ 南魚沼市民会館 025-773-5500

【主催】南魚沼市民合唱団うおぬまLirica、(公財)南魚沼市文化スポーツ振興公社



コンサート

シティブラス越後 第20回ふれあいコンサート

12/14(土) 14:00 新潟県民会館 大ホール

吹奏楽が大好きな人も、吹奏楽になじみがない人も、お子様から大人まで家族そろって音楽を楽しめるコンサートです。未就学児の入場制限もありませんので、お子様の初めてのコンサートにもおすすめです♪

出演:佐藤英志(指揮)
シティブラス越後
曲目:パブリカ
アラジン・メドレー
恋人たちのクリスマス 他



料金 全席自由 入場無料

主催 お問合せ シティブラス越後 070-1325-2223(野村)



コンサート

CARROTS CONCERT 2019 創団40周年記念 村松吹奏楽団52nd定期演奏会

12/22(日) 14:00 五泉市さくらんど会館

創団40周年を記念して、第2部は「スタンダード特集」と題して、老若男女問わず楽しめる曲を演奏します。どうぞお気軽にご来場ください。

曲目:祝典序曲(ショスタコフヴィチ)、シンフォニックダンスNo.3「フィエスタ」(ウイリアムズ)、マッカーサー・パーク、スターダスト、バードランド 他



料金 全席自由 400円(当日100円増) 未就学児 無料

主催 お問合せ 村松吹奏楽団 090-2204-6575(戸井田)



コンサート



第7回北区うたの祭典 ふゆ～クリスマスの贈りもの～

12/22(日) 14:00 新潟市北区文化会館

新潟出身、現在フランス・パリで活躍されているソプラノ歌手の今井あいさんをゲストに迎え、お子様からお年寄りまで幅広く楽しめるスペシャルなうたの祭典をお楽しみに!

出演:松浦良治(監修・第1部指揮)、長谷川正規(監修・第3部指揮)、今井あい(ソプラノ)、斎藤晴海(ピアノ)、五十嵐尚子(第1部指揮)、北区うたの祭典合唱団、北区少年少女合唱団、北区うたの祭典特別オーケストラ
曲目:もろびとこぞりて、もみの木、あわてんぼうのサンタクロース、ジングルベル 他



料金 全席自由 1,800円 4歳~高校生 900円
※4歳未満の入場はご遠慮ください。

主催 お問合せ 新潟市北区文化会館 025-388-6900



コンサート

クリスマス・ナイト・ジャズ

12/14(土) 18:30
魚沼市小出郷文化会館
小ホール

金子健が率いるKEN'S TRIOにゲスト松村聖華を迎え、限定100席の特別なクリスマス・ジャズコンサートをお楽しみください。会場にて、アルコール類・ソフトドリンク、軽食を販売します。

出演:金子健(ベース)
魚返明未(ピアノ)
今泉総之輔(ドラム)
松村聖華(ボーカル)



料金 全席自由 4,000円(当日500円増)
※未就学児の入場はご遠慮ください。

主催 お問合せ 魚沼市小出郷文化会館 025-792-8811



コンサート

十日町市民吹奏楽団 第45回定期演奏会

12/15(日) 14:00 越後妻有文化ホール 段十ろう

十日町市民吹奏楽団は創立45周年をむかえました。今回の演奏会は吹奏楽の人気曲はもちろん、第二部では様々な楽器のソロ演奏をお楽しみいただくプログラムを企画しました。コンサートの最後には今回も「星条旗よ永遠なれ」を皆さんと一緒に演奏します。是非、楽器を持ってご来場いただき、ステージで私たちと一緒に演奏しましょう!団員一同、心よりお待ちしております。

出演:佐藤圭亮(指揮)
十日町市民吹奏楽団
曲目:マーチ「アルセナール」
吹奏楽のための「風之舞」
ユー・レイズ・ミー・アップ 他



料金 全席自由 500円(当日200円増) 小学生以下 無料

主催 お問合せ 十日町市民吹奏楽団 090-2218-9401(近藤)



イベントなど

小川未明フェスティバル2019「野ばら」

12/22(日) 14:00 上越文化会館 中ホール

「日本のアンデルセン」「日本近代童話の父」と呼ばれた、上越の偉人、小川未明。今年のテーマは「野ばら」です。大きい国と小さい国の国境を守る老兵士と若い兵士の友情の物語。新作合唱や創作フラメンコなど小川未明文学に触れ、より密接な空間でこの作品と向き合います。

出演:グルボ・カントール(合唱)、西沢泰明(朗読)、ARTE Y SOLERA 鍵田真由美・佐藤浩希
フラメンコ舞踊団(創作フラメンコ) 他



料金 全席自由 1,000円 中学生以下 500円
※未就学児の入場はご遠慮ください。

主催 お問合せ 上越文化会館 025-522-8800



コンサート



第20回新潟第九コンサート2019

12/28(土) 14:00 りゅーとびあ コンサートホール

新潟第九コンサートも今年で20回目となりました。年に1度のこの機会をどうぞお見逃しなく!

出演:大河内雅彦(指揮)、別府美沙子(ソプラノ)、有田真恵(アルト)、青柳素晴(テノール)、小鉄和広(バリトン)、新潟交響楽団、其輪久夫(合唱指揮)、新潟第九合唱団
曲目:モーツァルト/歌劇「劇場支配人」
K486序曲、ベートーヴェン/交響曲第九番二短調合唱付



料金 全席指定 SS席 4,000円 S席 3,000円 A席 2,000円
B席 完売 ※未就学児の入場はご遠慮ください。

主催 お問合せ 新潟第九コンサート実行委員会 025-268-1354(西本)



古典・伝統

春風亭正太郎・柳亭市童・三遊亭わん丈 年忘れ三人会 宮信明セレクションVOL.5

12/15(日) 14:00

新井ふれあい会館 ふれあいホール

ご好評をいただいている宮信明セレクションの落語会、今年の締めくくりは、春風亭正太郎さん、柳亭市童さん、三遊亭わん丈さん、人気若手落語家による三者三様の年忘れ三人会で笑い納め!

出演:春風亭正太郎、柳亭市童、三遊亭わん丈、宮信明(早稲田大学演劇博物館招聘研究員)



料金 全席自由 一般 2,000円 高校生以下 500円
※未就学児の入場はご遠慮ください。

主催 お問合せ (公財)妙高文化振興事業団 0255-72-9411



コンサート

鍵富弦太郎ヴァイオリンコンサート すべての音とともに

12/21(土) 14:00 だいしホール

新潟市出身の鍵富弦太郎のヴァイオリンコンサート。読売日本交響楽団コンサートマスターの長原幸太氏との、素敵なデュオをお楽しみください。

出演:鍵富弦太郎(ヴァイオリン)
長原幸太(ヴァイオリン)
内門卓也(ピアノ)

曲目:プロコフィエフ/2つのヴァイオリンのためのソナタop.56、サラサーテ/ナヴァラ、クライスラー/小品 他



料金 全席自由 一般 3,500円 高校生以下 2,000円(当日各500円増)

主催 お問合せ 鍵富弦太郎後援会 090-8853-9752(高橋)



ミュージカル・演劇・舞踊

新作アキハミュージカルトライブ公演 「走れ!ロコモーション」

1/19(日) 13:30
17:00 新潟市秋葉区文化会館

2020年秋葉区オリジナル市民ミュージカルの上演に向け、演劇ワークショップとその成果発表公演を開催します。



料金 全席自由 500円

お問合せ 新潟市秋葉区文化会館 0250-25-3301

【主催】新潟県、新潟市秋葉区文化会館、平成31年度舞台芸術への県民参加推進プロジェクト実行委員会



コンサート

加茂邦楽こども教室15周年記念 ～寿ぎの音～ 加茂新春コンサート

1/26(日) 13:15 加茂文化会館

加茂邦楽こども教室15周年を記念し、尺八・箏・ヴィブラフォンのメンバーで、コンサートを開催します。前半は子どもと高校生の演奏を披露します。どうぞお楽しみに。

出演:ジョン・海山・ネプチューン(尺八・打楽器)、高橋理香(箏)、浜田均(ヴィブラフォン)、加茂邦楽こども教室、三条東高校琴部、新潟箏曲音会
曲目(予定):大和の囀、忍者、森の道、春の海、TakeFive 他



料金 全席自由 入場無料

お問合せ 新潟箏曲音会 090-9425-8824(高橋) 加茂市教育委員会社会教育課 0256-52-0080

【主催】新潟箏曲音会

コンサート

新潟セントラルフィルハーモニー管弦楽団第6回演奏会
ロマン派音楽のいぶき~フランスの風、ドイツの薫り

2/2(日) 14:30 新潟市秋葉区文化会館

新潟県出身の演奏家を中心に編成されたオーケストラ、新潟セントラルフィルの第6回目の演奏会です。今回は、新潟チェロ界を牽引する実力派・渋谷陽子氏をソリストに迎えてのチェロ協奏曲、ドイツロマン派の名曲メンデルスゾーンの交響曲「イタリヤ」などをお送りします。



渋谷陽子

出演:磯部省吾(指揮)、渋谷陽子(チェロ)、新潟セントラルフィルハーモニー管弦楽団
曲目:サン=サーンス/チェロ協奏曲第1番、メンデルスゾーン/交響曲第4番イ長調「イタリヤ」他

料金	全席自由 3,000円(当日500円増)
主催 お問合せ	新潟セントラルフィルハーモニー管弦楽団 090-4135-5229(石丸)

ミュージカル・演劇・舞踊

12/1(日) 発売開始

第2回 江南区演劇祭

2/9(日) 高校演劇の部 10:00 市民演劇の部 14:00
新潟市江南区文化会館

高校演劇部2校と市民有志による演劇祭を開催します。市民演劇では、関西の劇団で映画やドラマの脚本も手掛ける、土田英生の作品を上演します。舞台上でどのような「一初恋」が展開するのか、ご期待ください。高校生の青春あふれる舞台もお楽しみください。

<高校演劇の部>
出演:新潟向陽高校演劇部
新潟明訓高校演劇部
<市民演劇の部>
演出:「一初恋」
作:土田英生
潤色/演出:大作綾



前回公演「夜の子供2」より

料金	高校演劇の部 入場無料 ※市民演劇の部:未就学児の入場はご遠慮ください。 市民演劇の部 一般 1,000円(当日500円増) 高校生以下 500円
お問合せ	090-9015-0876(東城:とうじょう)

【主催】江南区演劇公演実行委員会

コンサート

合唱団NEWS 第22回演奏会

2/22(土) 14:30 だいしホール

1994年に誕生した合唱団NEWSは、「新しい合唱団」「何か新しいことがしたい人の集まり」という意味と、「活動がニュースになるように」という願いと共に、「聴き手」にも「歌い手」にも楽しい合唱を目指して活動しています。新潟市出身の作曲家、佐藤さおり作曲の無伴奏混声合唱組曲の他、「猫の日」の開催となる今回は、猫にまつわる曲を含めたバラエティに富んだプログラムで演奏します。皆さまのご来場お待ちしております。

出演:合唱団NEWS、金子央(指揮)
曲目:佐藤さおり/「芭蕉の俳句に寄せる七景」、十河陽一/無伴奏混声合唱組曲「夏目漱石・人間模様」他



料金	全席自由 一般 500円 小・中学生 無料 ※未就学児の入場はご遠慮ください。
主催 お問合せ	合唱団NEWS 080-2672-6762(泉)

ミュージカル・演劇・舞踊

第25回 柏崎演劇フェスティバル

2/2(日)~2/16(日) 柏崎市産業文化会館

柏崎で毎年恒例となった演劇フェスティバル。柏崎市内外のお芝居を楽しむことができる、おなじみの催しが来年もやってきます!なんと今年で第25回目。2月に各劇団の熱いお芝居を観て、冬の寒さを吹き飛ばしてみませんか。

※公演スケジュールはお問合せ先まで

出演/演出:かしわざき語り部の会/
「むかしばなし」
劇団THE風・FOU/
「表に出ろいっ!」
たろうの会/
「朗読劇」他



料金	入場無料
主催 お問合せ	柏崎市産業文化会館 0257-24-7633

イベントなど

村上文化祭2020

2/9(日) 10:30(予定) ふゆの201(ふれあい)音楽祭
ピアノ、合唱、独唱、独奏、琴など

2/15(土) 9:30(予定) ふれあい芸能の祭典
舞踊、民謡、社交ダンスなど

2/16(日) 11:00(予定) ダンスおどろーよ!村上
フラダンス、ヒップホップなど

村上市民ふれあいセンター

年に1度の一大イベント、村上文化祭が今年も開催されます。村上市やその周辺地域で活躍する文化団体が日頃の練習の成果を発揮しあいます。皆さまぜひお越しください。



料金	入場無料
お問合せ	村上市民ふれあいセンター 0254-52-0201

【主催】(公財)イゴボヤの里開発公社

古典・伝統

助成事業

第10回 都美会 吟の舞発表会

3/1(日) 12:20 りゅーとぴあ 能楽堂

吟剣詩舞の習得とその普及に力を注ぐ都美会が今年で10回目の記念公演を迎えます。会員の類まれなる剣詩舞をはじめ、これまで育成してきた保育園児の演技でオープニングを飾ったり、県内各流派による演舞、ゲストコーナーなど、様々な演目で舞台を華やかに彩ります。中でも、城下町・村上の文化資源にスポットを当てた企画構成吟舞「村上舞鶴城」は必見です!

出演:都美会
中道山保育園園長組
北原恭子(ゲスト) 他



料金	全席自由 500円
主催 お問合せ	剣詩舞道 都美会 090-2179-6093(遠藤)

美術展・写真展

丸沼芸術の森所蔵
アンドリュー・ワイエス展 オルソン・ハウスの物語

1/19(日)まで 新潟市美術館

9:30~18:00 (券売は17:30まで) 月曜、12/29~1/3休館 ただし、1/13は開館
アメリカの国民的画家アンドリュー・ワイエス(1917-2009)は、生まれ故郷のペンシルヴェニア州と夏の家があるメイン州で絵画制作を行いました。本展では丸沼芸術の森の作品から厳選した120点を紹介するとともに、画家が30年間見つけた、アメリカのひとつの家、オルソン・ハウスの物語を辿ります。

関連イベント

ワイエスが影響を受けた
ロバート・フロストの詩の朗読と鑑賞
12/15(日) 14:00 申込不要 先着80名 参加無料
出演:TeNYテレビ新潟アナウンサー
進行:児矢野あゆみ氏(新潟市美術館 学芸員)

美術講座「アメリカン・リアリズム 20世紀を中心に」
1/11(土)14:00 申込不要 先着100名 参加無料
講師:児矢野あゆみ氏(新潟市美術館 学芸員)



アンドリュー・ワイエス(オランダの戦)1969年 水彩紙
© 2019 Andrew Wyeth / ARS, NY / JASPAR, Tokyo E3471

料金	一般 1,000円 高校・大学生 800円 中学生以下 無料
お問合せ	新潟市美術館 025-223-1622

【主催】新潟市美術館、TeNYテレビ新潟、丸沼芸術の森

第34回新春美術展

1/23(木)~1/27(月) 加茂文化会館

9:00~17:00 (最終日は15:00まで)

令和元年度県展・芸展に入賞入選された加茂市在住の方の作品及び、加茂市展に入賞された方の作品を一堂に集めた作品展を開催します。市民芸術の粋を集めた作品は日本画をはじめ、工芸、書道、写真など幅広いジャンルをご紹介します。ぜひご覧ください。



第33回新春美術展より

同時開催

いけばな展
加茂いけばな協会による諸流いけばな展で会場を華やかに彩ります。

料金	入場無料
主催 お問合せ	加茂文化会館 0256-53-0842

タータン展 伝統と革新のデザイン

12/14(土)~3/1(日) 新潟県立万代島美術館

10:00~18:00 (券売は17:30まで) 12/16、28~1/3、6、20、2/3休館

スコットランド北西部・ハイランド地方で発展し、世界各国で愛されている格子柄の織物、「タータン」。本展では「タータン」の布地や洋服、靴をはじめ、その知られざる歴史や背景など幅広く紹介します。タータンの多彩な色彩や洗練されたデザインの数々をお楽しみください。

関連イベント

パーソナルカラーで
自分に似合うタータンを知ろう!
12/15(日)、1/19(日)、2/16(日)
各回 11:00/14:00 定員30席 要観覧券
講師:パーソナルカラー&専属スタイリストサロンAlice(アリス)
タータン風プローチを作ろう!
12/22(日)、1/5(日) 各回 12:00~16:00
参加無料 各回先着100名



「アフタヌーンドレス」1865年頃
神戸ファッション美術館蔵

料金	一般 1,100円 高校・大学生 900円 中学生以下 無料
お問合せ	新潟県立万代島美術館 025-290-6655

【主催】新潟県立万代島美術館、新潟日報社、UX新潟テレビ21、タータン展新潟実行委員会

企画展 雪華図案の世界

12/3(火)~1/26(日) 長岡市立科学博物館

9:00~17:00 (入館は16:30まで) 第1-第3月曜(祝日の場合はその翌日)、12/28~1/4休館

長岡の自然と人文の総合博物館、長岡市立科学博物館の冬の企画展です。衣食住にまつわる、身近な物品にデザインされた雪結晶模様を紹介。様々な形の雪の結晶模様が登場します。皆さま、この機会にぜひ長岡へ足をお運びください。



料金	入場無料
主催 お問合せ	長岡市立科学博物館 0258-32-0546

「地図と古写真で見る新潟の文明開化」展

12/21(土)~2/2(日) 新潟市歴史博物館 みなとぴあ

9:30~17:00 (券売は16:30まで) 月曜(祝日の場合はその翌日)、12/28~1/3休館

明治の新潟開港は、それまで商業中心だった港町新潟を、県政をも担う町へと変えました。近代化の中で町がどのように移り変わってきたのか、地図と古写真によって視覚的にたどります。

関連イベント

子ども向け体験プログラム
「飛び出す写真をつくってみよう」
1/11(土) 14:00 参加無料
記念講演会「文明開化と人々のくらし」
1/25(土) 13:30 要申込 資料代:100円
講師:伊東祐之氏(新潟市歴史博物館 館長)
ミニ講座「新潟文明開化小話」
2/1(土) 13:30 資料代:100円
講師:鈴木彩也氏、安宅俊氏(新潟市歴史博物館 学芸員)



初代万代橋を渡る人力車(明治期 新潟市歴史博物館蔵)

料金	一般 300円 高校・大学生 200円 小・中学生 100円 ※土曜、日曜、祝日は小・中学生無料
主催 お問合せ	新潟市歴史博物館 みなとぴあ 025-225-6111

越後・佐渡の温泉文化

1/18(土)~3/8(日) 新潟県立歴史博物館

9:30~17:00 (券売は16:30まで) 月曜休館(祝日の場合はその翌日)

新潟県では全30市町村から温泉が湧き出しており、源泉数は全国第13位、宿泊施設のある温泉地数は151件で全国3位を誇り、全国的にも有数の温泉地です。本展では新潟の温泉にかかわる歴史や文化を概観し、現在につながる温泉大県「新潟県」を再認識してみます。

関連イベント

記念講演会
「知れば知るほど楽しい温泉、にいがた温泉」
1/26(日) 13:30 定員150名
講師:山崎まゆみ氏(温泉エッセイスト)



「滑輪旗島」赤湯温泉 十返舎一九作、歌川国直 画(新潟県立歴史博物館蔵)

料金	一般 520円 高校・大学生 200円 中学生以下 無料
主催 お問合せ	新潟県立歴史博物館 0258-47-6130

十二支と吉祥の正月飾り 新春絵画工芸展

1/7(火)~3/14(土) 敦井美術館
10:00~17:00 (券売は16:30まで) 日曜、祝日休館

十二支最初の「子」年となる新年は、十二支の動物たちをモチーフとした菱田春草、橋本閑雪らの絵画や亀倉蒲舟の彫金などの工芸品に、おめでたい正月飾りを併せて約40点展示し、新春を寿ぎたいと思います。この機会にぜひ敦井美術館へ足をお運びください。



横山大観「神州之正気」

料 金	一般 500円 高校・大学生 300円 小・中学生 200円 ※土曜日は小・中学生無料
主 催 お問合せ	敦井美術館 025-247-3311

**ふるさとの記憶 第6弾
西蒲区の隠れた名品展**

1/18(土)~3/22(日) 新潟市新津美術館
10:00~17:00 (券売は16:30まで) 月曜休館(祝日の場合はその翌日) ただし、2/10は開館

新潟市内の学校や個人、公共施設などが所蔵し、普段は目にする機会が少ない「隠れた名品」に光を当てる展覧会シリーズの第6弾、今回は「西蒲区」です。樋口峰夫、青柳八十二の日本画や三富與一、佐藤吉五郎の洋画など、この地域出身の作家による作品をはじめ、魅力溢れる名品の数々をご覧ください。



三富 與一《(果物とナイフ)》
1959年頃、新潟市立岩室図書館蔵

関連イベント	
美術講座「明治時代のイコン画家 山下りん」 1/26(日) 13:30 定員50名 申込不要 聴講無料 講師:宗原美穂氏(新潟市新津美術館 学芸員)	
美術講座「西洋美術の『肖像』」 2/16(日) 13:30 定員50名 申込不要 聴講無料 講師:斎藤末希氏(新潟市新津美術館 学芸員)	
料 金	一般 500円 高校・大学生 300円 中学生以下 無料
主 催 お問合せ	新潟市新津美術館 0250-25-1300

**邪馬台国の時代7
弥生時代後期の北越と北陸・長野との交流
-天王山式土器から考える-**

3/29(日)まで 史跡古津八幡山 弥生の丘展示館
10:00~17:00 月曜、休日の翌日、12/28~1/3休館

古津八幡山遺跡には縄目文様がつけられた弥生土器があります。主に東北に分布する「天王山式土器」と言われる不思議な土器です。東北から遠く離れた北陸や長野でも見つかり、当時の人々の交流を示す証拠になっています。本展では土器から見た当時の激動の社会動態を探るとともに、その分布と系統について解説します。



大槻3号墳(石川県中能登町)

関連イベント	
展示解説 12/8(日) 13:30 申込不要	
料 金	入場無料
主 催 お問合せ	新潟市文化財センター 025-378-0480

高橋正則 油彩画展 ~魚沼冬の世界~

2/15(土)~3/15(日) 弥彦の丘美術館
9:00~16:30

「魚沼は、八海山を初めとする数々の名山があります。深い雪に覆われる冬、時に見せる晴れ間の光と影が織りなす山の姿に心を奪われます。この感動を、雪の美しさで厳しさで表現したいと思う日々です。」と語る高橋正則氏。この機会にぜひ美しい魚沼の冬の世界をご堪能ください。



「魚沼冬の景」

料 金	一般 300円 小・中学生 150円 未就学児 無料
主 催 お問合せ	弥彦の丘美術館 0256-94-4875

1964年 東京-新潟

1/25(土)~3/22(日) 新潟県立近代美術館
9:00~17:00 (券売は16:30まで) 月曜休館(祝日の場合はその翌日)

1964年、東京はオリンピックの開催に沸き、その公式ポスターをデザインしたのは亀倉雄策でした。同年、新潟では国内で初めて「現代」を銘打った美術館が長岡市に開館しました。日本美術のひとつの転換期にあたるこの時代の美術の諸相を、新潟県立近代美術館の所蔵品を中心に展覧します。



亀倉雄策《東京オリンピック公式ポスター第2号》
(フォトレリクジョン)村越真、写真早崎治 1962年

関連イベント	
美術鑑賞講座「1964年-現代美術の背景」 2/1(土) 14:00 申込不要 参加無料 先着165名 講師:藤田裕彦氏(新潟県立近代美術館 学芸課長)	
美術鑑賞講座「長岡現代美術館賞と同時代美術」 2/15(土) 14:00 申込不要 参加無料 先着165名 講師:濱田真由美氏(新潟県立近代美術館 主任学芸員)	
料 金	一般 700円 高校・大学生 500円 中学生以下 無料
主 催 お問合せ	新潟県立近代美術館 0258-28-4111

**新潟市會津八一記念館 開館45周年記念 新春企画展
「會津八一と酒」~一杯一杯復一杯~**

1/4(土)~3/29(日) 新潟市會津八一記念館
10:00~18:00 (入館は17:30まで) 月曜休館(祝日の場合はその翌日)

會津八一(1881~1956)は、歌人、書家、東洋美術史学者、教育者と多方面にわたる業績を残しました。八一が揮毫した漢字作品には、酒を題材にした漢詩も多く見られ、酒造会社との縁もあり、新潟市や長岡市、新発田市の蔵元も八一の墨蹟を所蔵しています。本展では、それらに加え、酒に関する書画作品などを展示し、酒文化に対する八一の眼差しを紹介します。



同時開催	
第13回「會津八一の歌を映す」 写真コンテスト入賞入選作品展 會津八一の短歌のイメージを写真で表した入賞・入選作品30点を展示します。	
料 金	一般 500円 大学生 300円 高校生 200円 小・中学生 100円
主 催 お問合せ	新潟市會津八一記念館 025-282-7612

-子どもとワクワク・ドキドキを-
親子で楽しもう

コンサート

東区まんなかクリスマスフェスタ

12/14(土) 14:30 東区プラザ

新潟県立大学の学生による軽快な歌と演奏を親子で楽しめるコンサート。ご家族そろって楽しい時間を過ごしませんか。そのほかアート作品の展示やものづくり体験も。クリスマスは東区のまんなかへ、ぜひお越しください。



同時開催	
ものづくり体験 13:00 各要申込(12/6)まで 新聞紙と布でつくるカラフルリース 定員20組(小学生と保護者) 丸太のクリスマスツリーづくり 定員15組(小学生と保護者) 金箔のしおりに描く蒔絵体験 定員10組(小学3~6年と保護者)	
聞きたい!知りたい!!おしごとのほなし 13:00 要申込(12/6)まで 定員30名(小学生) ※保護者同伴可	
料 金	主催・お問合せ
全席自由 入場無料 新潟市東区役所地域課 025-250-2130	

イベントなど

助成事業

**TAP DO!
エキサイティング・ショータイム!**

12/22(日) 14:00 新潟ユニゾンプラザ

子どものための舞台芸術体験を育もうと活動が続いている新潟中央おやこ劇場。45周年の企画として今回は迫力のタップと抱腹絶倒のパフォーマンス・コントを新潟スペシャルバージョンでお贈りします。この日限りの最高にハッピーなショータイムをお見逃しなく!!
出演:TAP DO!(タップダンスユニット)
演目:タップダンス、ジャグリング、パトントワリング 他

料 金	
全席自由 中学生以上 2,000円 4歳~小学生 1,000円(当日各500円増) ※4歳未満の幼児鑑賞は有料	
主 催・お問合せ	
新潟中央おやこ劇場 025-224-8543	



美術展・写真展

特別展「ミニ恐竜展」

12/21(土)~2/2(日) 上越科学館

9:00~17:00 (入館は16:30まで) 12/29~1/1、14、20、27休館
ジュラ紀を代表する大型の肉食恐竜「アロサウルス」の頭骨・復元模型や、白亜紀のティラノサウルスの大腿骨(実物)、アンモナイトや三葉虫の実物標本などワクワクが止まらないお宝が登場します!どうぞお楽しみに。

料 金	
一般 600円 小・中学生 300円 シニア(65歳以上) 450円	
関連イベント	
化石レプリカ作製教室 化石レプリカ発掘体験コーナー 各1月中旬予定 ※詳細はお問合せください。	
主 催・お問合せ	
上越科学館 025-544-3939	



アロサウルス ©神流町恐竜センター



ティラノ大腿骨 ©東京サイエンス

イベントなど

託児あり

**アルフォーレ
子どもステージフェスティバル**

1/26(日) 14:00 柏崎市文化会館 アルフォーレ

柏崎市内の子どもたちが参加する団体が、日ごろ取り組んできた練習の成果を発表します。大きなホールで緊張しながらも、一生懸命に演目を披露する子どもたちをぜひご覧ください。
出演:柏崎ジュニアオーケストラ、柏崎少年少女合唱団、石井バレエ研究所、スタジオエムカ

料 金	
入場無料(要入場整理券)	
主 催・お問合せ	
柏崎市文化会館 アルフォーレ 0257-21-0010	



公益財団法人 新潟県文化振興財団
文化活動支援助成金募集のご案内

県民の皆様の自主的な文化活動の活発な展開と個性豊かな文化活動の創造を願って、音楽、美術、演劇、舞踊、文学、映画、生活文化などの下記対象事業に対して支援活動を行っています。

事業区分	対象事業	助成金	令和2年度申請期間
県民文化活動推進事業	自主企画による文化事業で県民の文化に対する関心を高め、日常の文化活動を活発にする事業 (令和2年4月～令和3年3月開催分)	助成対象経費の1/3 (上限100万円 下限10万円) ※ただし、助成対象経費から入場料、参加料、補助金、助成金等の収入を控除した額を上限とする。	令和2年 2月3日(月) ～ 2月14日(金)

お問合せ 公益財団法人 新潟県文化振興財団 事業課
TEL : 025-228-3577 WEB : <http://www.niigata-bunka.jp>

ご寄付をお願いします

皆様のご支援が、これからの新潟の文化・芸術振興の大きな力となります。



新潟文化情報誌「カルチャーにいがた」を年4回発行しています。

新潟県民が優れた文化芸術に気軽に触れることのできる機会を提供します。

県内の文化団体等の事業を支援しています。

昭和56年(1981年)の設立以来、県民の皆様一人ひとりが心の豊かさを実感できるよう、県民の皆様が自主的に取り組まれる文化活動を支援させていただき事業や県民の皆様が優れた文化・芸術に触れていただく機会を提供する事業などを行ってまいりました。

今後も安定的に県内における文化活動の支援に取り組むため、このたび、多くの文化・芸術を愛する皆様からご支援をいただく寄付制度を創設致しました。何卒、当財団の事業趣旨にご理解とご賛同をいただき、ご寄付をお寄せいただきますようお願い申し上げます。

なお、当財団は「特定公益増進法人」となっており、ご寄付をお寄せいただいた個人、法人の皆様には税制優遇措置が適用されます。

お問合せ 公益財団法人 新潟県文化振興財団 総務課
TEL : 025-228-3700 WEB : <http://www.niigata-bunka.jp>

Culture Niigata

- 発行回数 年4回(5月、8月、11月、2月)
- 発行部数 15,000部
- 配布先 市町村、公民館、文化施設、金融機関、大学等

●発行 公益財団法人 新潟県文化振興財団
TEL 025-228-3577 FAX 025-228-3818
E-mail jigyouni@niigata-bunka.jp WEB <http://www.niigata-bunka.jp>
Address 〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町3-13

「カルチャーにいがた」送付について

「カルチャーにいがた」をご希望の方には郵送料実費にてお送りしています。住所、氏名、希望する部数を明記の上、返信用切手(140円/1冊)を添えて、新潟県文化振興財団までお申し込みください。複数冊ご希望の場合はお問い合わせください。

— シリーズ —

URAKATA 裏を語る

舞台裏から、芸術の新たな魅力を発信!

舞台を製作しているのはアーティストだけではない。音楽・文化・芸術をもっと身近に感じてもらうためここでは裏方で活躍する人々をご紹介します。第18回目は「企画制作」の仕事についてオペラ招聘事業を展開するコンサート・ドアーズの山下由香さんに話を聞いた。

(株)コンサート・ドアーズ
企画制作 チーフプロデューサー
山下 由香

公演の企画立案から
現場の運営管理まで幅広く

17世紀にイタリアで誕生し、ヨーロッパで発達したオペラ。音楽と演劇から成る総合芸術で圧倒的な舞台の華やかさ、美しさで観る者を魅了してやまない。そんなオペラが最近、日本に居ながらにして気軽に楽しめるようになってきた。

そうした状況を陰ながら作り出している一人が山下由香さん。所属するコンサート・ドアーズはプラハ国立歌劇場、ハンガリー国立歌劇場などといった世界でも名だたる歌劇場の招聘事業を展開している。そのほか、世界有数のオーケストラ、アーティストなどを招く公演事業も行っている。いずれも東京公演だけでなく、日本各地での上演にも力を入れているのが大きな特色だ。

同社の企画制作として山下さんは、来日公演について詳細な企画立案から、キャスティング、運営、制作など非常に多岐にわたる業務を担当している。

まず、ヨーロッパの数ある歌劇場、オーケストラ、アーティストの中から、上演時期や日本での人気度、知名度などを鑑みてどこを招聘するか、どこで上演するかを決め、公演内容に合わせて予算を組み、交渉を行う。上演が決定してからは、舞台上で使う道具類の運搬手

配、キャストやスタッフの宿泊、食事、移動手段の手配など本番までサポートしていく。

「特に当社で興行するオペラは、引越し公演といって海外の歌劇場で使ったセットをそのまま日本に運び、現地さながらの公演を観客の方に楽しんでもらうことを基本にしています。とはいえ、舞台のサイズも、照明や音響といったテクニカル機材も劇場ごとに違います。そのため、セットをその劇場サイズの仕様に合わせてたり、代替機材でカバーできるかどうかといった確認作業が必要になってきます。その調整役も私たち企画制作の仕事。日本と海外、両方のスタッフの意見を聞きながら、調整を進めていきます」

今年後半は「トリエステ・ヴェルディ歌劇場『椿姫』」の日本ツアー公演の準備に追われていた山下さん。取材当日も東京文化会館での東京公演のため、日本のスタッフと最終ミーティングの真っ只中。会議室には日本側の舞台監督、照明、音響など機材スタッフが揃い、当日の進行の流れ、スケジュールなどをきめ細かく話し合っていた。

ちなみに海外のスタッフとは、来日するまでメールでこちらの状況などを伝え、海外スタッフの要望などを聞いておく。

本番前日になって初めて日本と海外のスタッフが顔を合わせることになる。時間の感覚などが違うので足並みを揃えるのにもひと苦労だが、互いの間に入って

カーテンコールの拍手の熱量と その裏で日本と海外のスタッフが ハグし合う光景を 目にした瞬間が一番好きです

「椿姫」会館打合せの様子 協力／東京文化会館

現場の進行をスムーズにするのも山下さんの仕事だ。「例えば、日本人は無理してでも時間までにリハーサルを終えようと食事を取らずに頑張ろうとする。ところが外国人スタッフ、特にイタリア人は食事が最優先。セッティングが途中で時間が来たらピタリと作業をストップさせます。

日本人は『まだ完成していないのになぜ今、止めるの?』と思いますよね。そんな感覚の違いをそれぞれに伝え、チーム一丸となって気持ちよく動いてもらえるように計らうのも私の業務です」公演中はそうした小さな気苦労の連続。さらに予期せぬトラブル対応に追われることも。それだけにカーテンコールの大きな拍手を聞くと毎回、感無量の喜びでいっぱいになると言う。

「しかも、カーテンコールの裏側では、日本人と海外のスタッフが互いの働きを讃え合うように、ハグしたり握手し合ったり。そんな姿を見てしまうとさらに胸が熱くなり、泣けてきます。大変だったけど、また頑張ろうって思える瞬間です」

イタリアオペラに魅せられて

山下さんが初めてオペラに触れたのは新卒で入った会社を辞めてイタリアのフィレンツェへ語学留学した時のこと。スカラ座で初めて観たオペラは「蝶々夫人」。

しかも驚いたのは演出が浅利慶太さん、衣裳が森英恵さんと日本人だったことだ。

「スカラ座という世界最高峰の歌劇場で日本人が活躍していることにも感動したのですが、とにかくオペラ自体に圧倒されました。舞台も美しいし、生の演奏、生の歌声も迫力満点。その時にオペラに関わる仕事に就きたいと思ったんです」

山下さんの行動は早い。語学留学を半年で済ませてそのままミラノ市立舞台芸術学校へ入学。2年半通うがその間に野外オペラフェスティバルで演出家のアシスタントなども経験しておく。そして、帰国後はオペラなどを手がける音楽事務所に狙いを定めて転職活動を行い、コンツェルト・ハウス・ジャパン(KHJ)に入社。10年近くそこで働き、転職を経て現在の会社へ。一貫してオペラの招聘事業に携わり、今年で20年になる。

「その間で、特に印象深く心に残っているのは4年目の頃、イタリアのカターニャにあるベッリーニ歌劇場を招聘できたことです。当時在籍していた事務所では、東欧の歌劇場しか招聘していなかったんです。でも、本場イタリアの歌劇場を招きたかった。それが実現できた時の喜びは今でも忘れられない。何よりそれ以降、イタリアの歌劇場を招聘することで仕事のモチベーションも上がり、今でも続けられているのがうれしいですね」

生の歌声、生の演奏を 心ゆくまで味わってほしい

オペラ、オーケストラと聞いただけで「敷居が高い」と敬遠する人がいるが、まずは試しに実際に体験してほしいと山下さんは言う。「私はスカラ座で初めてオペラを観た時、生の歌声、生の演奏が振動のように伝わってくることに衝撃を覚えました。オペラだけでなく、オーケストラの音楽も同じ。生で聴くと全然違います」来年1月には、リ्यूとびあで「ウィーン・ヨハン・シュトラウス管弦楽団ニューイヤーコンサート2020」が開催される。指揮者のヨハネス・ヴィルトナーは陽気で朗らかな親日家とのこと。「彼は今度で来日37回目ですが、新潟では必ず日本酒と海鮮ものを食べています。彼の情熱的な指揮と、ユーモアあふれるトークを楽しんでほしいです」

次号シリーズ-URAKATAは調律師にスポットをあてます。



(株)コンサート・ド・アール
企画制作 チーフプロデューサー 山下由香

大阪府大阪市生まれ。青山学院大学経営学部卒業後、(株)服部セイコーで眼鏡商品企画・販売・輸出入業務を担当し退職。渡伊し、ミラノ市立舞台芸術学校パオロ・グラッシで舞台のマネジメントを学ぶ。オペラ招聘事業を展開する現会社へ入社するため帰国し、現在に至るまでの約20年間、数十回ものオペラツアー招聘事業に従事。担当業務は企画制作だが、運営、渉外、広報、総務、経理、営業など多岐にわたる。

公演情報



指揮・ヴァイオリン/ヨハネス・ヴィルトナー

ヨハン・シュトラウスⅡ世自らが創設したウィンナ・ワルツの決定版!
『ウィーン・ヨハン・シュトラウス管弦楽団 ニューイヤーコンサート2020』

目を閉じれば、そこはウィーン。ウィーンにその拠点を持つ、伝統と格式を兼ね備えた一流のオーケストラです。ウィーンの人々はだらかのに、いったんスイッチが入ると、どんなにたわいのない遊びであっても、あきれるほど情熱を注ぐところがある。「そんなウィーン人の気質が現われるのもこのオーケストラの魅力。ぜひ本家本元の音を楽しんでください」(山下さん)。

日時:1月12日(日)14:30開演
会場:リ्यूとびあ新潟市民芸術文化会館コンサートホール
料金:全席指定 S席8,300円 A席6,200円(税込) ※未就学児入場不可
お問合せ:新潟日報社ふれあい事業部 TEL025-385-7470(平日10:00~17:00) NSTイベントインフォメーション TEL025-249-8878(平日10:00~18:00)